機械器具 11 放射線障害防護用器具
一般医療機器 放射線防護用固定式バリア 38374000

X線防護用ボックス

【形状・構造及び原理等】

本品は、X線診断装置で撮影を行うとき、X線放出を遮断または減衰させるための構造的バリアから成る防護用BOXであり、放射線による不要な被ばくを防護する。

型 式 : AY-3
本体の寸法 : D240mm×W240mm×H500mm
本体の質量 : 15 kg

本品は外部機器のX線診断装置(例えば、販売名:ケ-エックスⅢ、認証番号:第226AABZX00049000号)と組み合わせて使用する。

【原理】

X線診断装置で撮影を行うとき、X線診断装置はX線の遮蔽能力に優れた鉛から成る防護用BOXに収納されているため、放射線による不要な被ばくを防護することができる。

【使用目的又は効果】

X線管装置を放射線源として使用するX線診断装置で撮影を行うとき、X線放出を遮断または減衰させることを目的とした構造的バリアで構成される。この構造的バリアは永久的に据え付けられ、放射線による不要な被ばくを防護する。

【使用方法等】

- (1) 本体の上面扉を開き、X線診断装置を撮影台の上方に設置する。
- (2) 本体の正面扉を開き、撮影台の上に模型やイメージングプレートセットする。
- (3) 撮影台のノブでX線診断装置と模型やイメージングプレートの距離を調節する。
- (4) X線診断装置の撮影条件を入力し、上面扉と正面扉が閉まっていることを確認する。
- (5) X線診断装置の照射スイッチを押し、X線を照射する。

【使用上の注意】

本品はX線診断装置と組み合わせて使用します。使用の際には次の点にご注意ください。

1. X線診断装置と関連機器との衝突に十分注意を払うこと。
2. 落下等を未然に防ぐために使用前の点検を行うこと。
3. 故障したときは勝手に触らないで適切な表示を行い、修理は専門家にまかせること。
4. 本品を改造しないこと。
5. その他
装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。弊社営業部にご連絡をいただくか、地方自治体毎に定められた条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処理業者に廃棄処分を依頼して下さい。

【貯蔵・保管方法及び使用期間】

1. 高温・直射日光の当たる場所での保管を避けてください。
2. 防護用BOXの表面材料の材料劣化は使用状況により外観で発生しますが、遮蔽効果については大きな変化はありません。
3. 水のかからない場所に保管すること。
4. 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響が生じる場所に保管しないこと。
5. 傾斜、振動、衝撃などの影響を受ける場所に保管しないこと。
6. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 目視による点検。
 - (1) 外観
製品の外観に異常がないことを確認する。損傷が認められたときは、X線漏洩試験による測定を行ってください。
 - (2) 清浄性
清浄な状態であることを確認する。
 - (3) 製品周辺
製品の妨げになるものがないことを確認する。
2. 機器の確認
 - (1) 可動部の動作
 - (2) 製品の固定状態の確認。
 - (3) インターロックが正常に作動すること。
3. しばらく使用しなかった本品を再使用するときは、使用前に必ず正常かつ安全に作動することを確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元: 朝日レントゲン工業株式会社
住 所: 〒601-8203
京都市南区久世築山町376番地の3
電 話 番 号: 075-921-4330
F A X: 075-921-6675
U R L: www.asahi-xray.co.jp
e - m a i l: sales@asahi-xray.co.jp
受 付 時 間: 9:00~17:00(休日・弊社休業日を除く)

組み合わせる装置の「使用説明書」を必ずご参照下さい。